

# モン太の植物観察コーナー

<No.1> 2014/10/21



2014/10/12撮影 掘立柱建物付近  
クリの収穫は終わりました。クリの実は  
縄文時代の重要な食料の一つです。



2014/10/12撮影  
掘立柱建物のそばにクヌギがあります。  
大きなドングリです。



2014/10/15撮影 ヒメグルミ 広場南  
だいぶ実は落ちていますが、まだ木に残っている実もあり  
ます。この緑色の果実を取り除くと皆さんが見慣れている  
堅い殻をもったクルミが出てきます。



2014/10/15撮影 広場南  
コナラの木の下にはたくさんの実が落ちています。大きさがさまざまです。



# モン太の植物観察コーナー

<No.2> 2014/10/31

## シラカシ



2014/10/24撮影 竪穴住居そば  
シラカシの実が茶色に色づきました。  
食用にするには、渋いのでアク抜きが  
必要です。



2014/10/24撮影  
シラカシの葉はどちらかというと細みで  
あることが特徴です。

## アラカシ

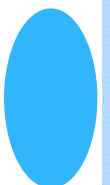


2014/10/24撮影 広場南  
アラカシの実が茶色に色づいてきました。  
食用にするには、渋いのでアク抜きが  
必要です。



2014/10/24撮影 広場南  
アラカシの実は、シラカシよりも丸み  
があります。  
葉の上半分にはギザギザがあります。

シラカシとアラカシの区別は少し難しいけれど、  
観察してみてね！



# モン太の植物観察コーナー

<No.3> 2014/11/19



2014/11/18撮影 広場南  
アラカシの実がようやく茶色に色づきました。



2014/11/18撮影 竪穴住居北側  
イロハモミジが色づいてきました。緑～赤色のグラデーションを見ることができます。



2014/11/18撮影 広場南 イロハモミジ  
切れ込みが深く分かれた葉の部分（裂片）を「いろは・・・」と数えたことに由来します。



2014/11/18撮影 考古資料館前  
冬の花といえば、ツバキ。  
ヤブツバキの花が咲き始めました。

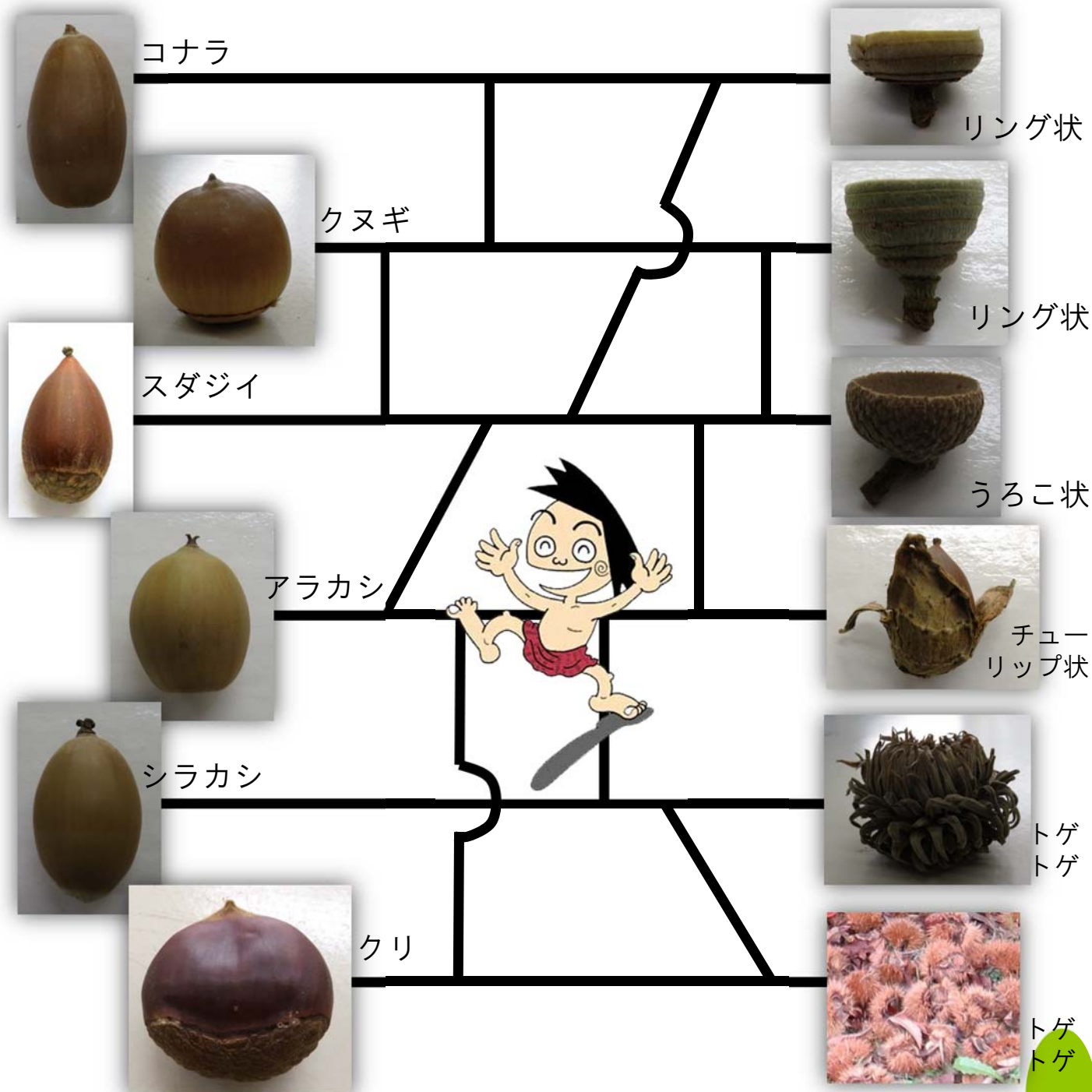


# モン太の植物観察コーナー

「どんぐりアラカルト」

<No.4> 2014/11/26

どんぐりの実にあう“おわん”にたどりつけるかな？



<果実>

<殻斗>

# モン太の植物観察コーナー

「上高津貝塚七不思議その一」 <No.5> 2014/12/18

丸いドングリをつけるクヌギは落葉広葉樹なのですが、、  
広場には葉が落ちないクヌギがあります。

クヌギ、カシワ、コナラなどのブナ科の一部には、冬の落葉の季節になっても、  
枝についたままで冬を越すという現象がしばしば見られるそうです。

広場の掘立柱建物そばにあるクヌギ2本のうち、右側は12月には落葉してしまいましたが、  
左側は枯れた葉が3月あたりまで着いたままだそうです。同じ環境で育っている  
はずですが、不思議な現象です。木の出身地（遺伝系統）が違うのかもしれません。

3月まで見逃せませんね。



2014/11/18撮影 掘立柱建物そば  
紅葉した2本のクヌギ。



2014/11/29撮影 掘立柱建物そば  
右側のクヌギの葉がだんだん落ちてきました。



2014/12/17撮影 掘立柱建物そば  
左側のクヌギは葉がたくさんついていますが、  
右側はほとんど落ちてしまいました。



2014/12/10撮影 左側の葉のついたクヌギ  
葉を取ってみると、緑色の生きた組織が  
残っています。維管束でまだつながって  
いる証拠です。

# モン太の植物観察コーナー

「冬の広場の楽しみ方」

<No.6> 2015/2/6



花も実も少ない冬。広場では何がみられるでしょう??

広場の森の落ち葉をかき分けると、秋に実を付けたドングリがたくさん落ちています。虫に食われて穴の空いたドングリもありますが、中には根を生やしているものも！また緑色のきれいなコケも見つかります。

春に向けて元気に育っているのは、ノビルです！掘り起こしてみると、まだまだ小さいノビルたちがたくさん見られました。球根類のユリやノビル、アサツキなどは、私たちも縄文人も食用にしていました。春にはもう少し大きくなっておいしくなっているでしょう♪



2015/2/4撮影 広場北側  
ドングリの芽生え



2015/2/4撮影 広場北側  
ノビル



2015/2/4撮影 広場北側  
コケ



2015/2/4撮影 広場北側  
コケ拡大





# モン太の植物観察コーナー

「樹皮を観察しよう！」

<No.8> 2015/2/25

葉があれば見分けやすい木も、葉がない冬には、何の木か分からないかもしれません。



そんな冬にとっておき！樹皮や木肌の違いを見てみましょう！  
一見同じように見える樹皮もよく見るとそれぞれに特徴があります。  
樹皮で木の名前がわかったら、樹木博士になれますね！！



鱗状にはがれる

ヤマ○ウシ



横向きのしわ

サ○ラ



縦にさける

クス○キ



赤みがある

○ギ



網目状

トチノ○



縦にさける

コ○ラ



縦にさける

○リ



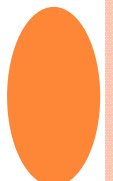
なめらか

○ラカシ



鱗状にはがれる

ケ○○



# モン太の植物観察コーナー

「3月3日 桃の節句」

<No.9> 2015/3/3

今日はひなまつりです。

ただ今考古資料館では、講座作品展と雛まつりの協賛展示を開催中です。  
考古資料館入口では、つちまる雛人形がお待ちしています。

桃は、もともと日本にはなく、弥生時代初頭に中国から持ち込まれた植物です。

市内の古墳時代の遺跡からは炭化したモモの核（種）が出土しています！

大きさは、今の大きな桃とは違い、ウメやスモモくらいの大きさと言われています。

古代のモモは、祭祀が行われたと思われる場所からよく出土しており、昔から祭祀と関連のある植物といえます。



炭化したモモの種  
(神出遺跡・北西原遺跡)  
上高津貝塚ふるさと歴史の広場  
第16回企画展パンフレット

果物の種に  
注目してみ  
よう！



ウメの核 宮畑遺跡(古代) モモの核 屋代遺跡群・更埴条遺跡(古代)

国立歴史民俗博物館  
くらしの植物苑たよりNo.28より

【No.8の答え】  
ボクノ スキナ クシヤキ

# モン太の植物観察コーナー

「春のおとずれ❀」

<No.10> 2015/3/25

つくしが顔を出しました！

サクラの花のつぼみも膨らんできて、春が近づいてきましたね。  
広場の木々はまだ葉も花もついていませんが、足元をよく見てみると、つくしが出ていました。ツクシはスギナ（シダ植物）の子ども（孢子茎）です。

皆さんの身近なところでも、注意深く見てみると見つかるかもしれません。  
つくしは少し苦味がありますが、小さいうちに煮物や卵とじにするとおいしいそうです。



2015/3/22撮影 つくし



2015/3/20撮影 つくし



2015/3/12撮影 掘立柱建物  
クヌギ

クヌギの葉がまだ  
落ちないよ！いつ  
落ちるかな？



★4月からは観察コーナーをバージョン  
アップしてお送りする予定です！